

事務事業名	環境衛生事務事業			事業コード	04010300101
所管部署	環境推進課	電話	50-3032	記入者名	小倉 歩
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	自然環境の保全と共生		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	死亡犬等回収委託
根拠法令	有	福井県動物の愛護および管理に関する条例 墓地、埋葬等に関する法律			
根拠例規	無	坂井市墓地、埋葬等に関する法律施行細則			
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

【死亡犬等処置】・・・路上に放置された死亡犬等の回収・供養や苦情対応など、動物愛護及び公衆衛生の向上を図るほか、そ族・昆虫の原因で公衆衛生が確保されず個人又は区での対応が困難であるときは不衛生な状態を解消するように努める。【公衆浴場設備整備事業】・・・公衆衛生上の見地から、浴場経営の安定化を図り、市民の入浴の確保を図る。【旧町営火葬場の管理】・・・旧町営火葬場の跡地処置については、賃借料を支出し、適正な維持管理に務めている。【墓地・納骨堂・火葬場の許可業務】・・・市町に事務移管された墓地等の許可・廃止等の業務を公衆衛生・公共の福祉の向上を目指して行なう。

○委託料
・死亡犬等供養委託料 2,749千円
・樹木処分委託料 160千円
・使用料及び賃借料 72千円

○補助金
・公衆浴場設備整備事業補助金 21千円

【事業の目的・事業の概要等】

すぐできる改善提案	・旧町営火葬場の跡地のため、今後も適正な維持管理に努める。 ・既存の墓地等の適正な維持管理に努め、指導する。
目標年度 平成25 年度	
取組状況	・樹木の伐採等、近隣の迷惑にならないような維持管理に努めた。 ・新規の墓地経営・廃止等の許可に当たっては、関係法・機関や近隣とのトラブルが発生しないよう調整した。
中長期的に取り組むべき改善提案	・物価統制令により入浴料金の価格を定めている公衆浴場に対して補助を行う。 ・愛玩動物の飼育責任について周知啓発を推進する。 ・動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、公共の場に存在している動物の死体の回収を行う。
目標年度 平成26 年度	
取組状況	・公衆浴場設備の修繕に対して補助を行い、経営の安定化を図ると共に市民の入浴の機会を確保した。 ・飼養者に対し飼育責任に対する記事を広報誌に掲載し、啓発を行った。 ・回収した動物の死体について、動物愛護の観点から供養を行った。

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境衛生費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	2,909	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	93	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	3,002	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.52	人	3,697	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.52	人	3,697	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	6,699	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源		6,699	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計	6,699	千円	千円	千円	千円	千円	千円			

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	犬猫等動物の死体処理については市民の認知度は高く、通報も増加している。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由				
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	死体処理委託について、燃料費等が高騰しているものの、委託単価は据え置かれている。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由				
すぐできる改善提案				
目標年度	—	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	飼養されていない猫に対する施策の検討			
目標年度	平成27	年度		

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度				
成果	死亡犬等回収件数	目標値	300	達成率 300	達成率 300	達成率 300				
		実績値	340	113.33	366	122	337	112.33	330	110
成果	墓地等の新設・廃止等の許可件数	目標値	3	達成率	達成率	達成率				
		実績値	2	66.67	---	---	---			
活動	広報件数（飼養者啓発）	目標値	10	達成率	10	達成率	10	達成率	10	達成率
		実績値	2	20	3	30				
活動	借地筆数	目標値	2	達成率	2	達成率	2	達成率	2	達成率
		実績値	2	100	2	100	2	100	2	---
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率				
		実績値								
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率				
		実績値								

【事業の成果】

事務事業名	赤坂聖苑管理運営事業			事業コード	04010305101
所管部署	環境推進課	電話	50-3032	記入者名	吉川 十代治
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	自然環境の保全と共生		事業種別	指定管理者事業
実施主体	指定管理者	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	火葬・待合業務、施設の保守管理
根拠法令	有	墓地、埋葬等に関する法律			
根拠例規	有	坂井市赤坂聖苑条例・同条例施行規則			
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	赤坂聖苑での火葬等業務、運営管理を指定管理者に委託し、火葬を支障なく行うとともに市民の公衆衛生の向上を図る。				
	赤坂聖苑の業務運営（火葬・待合）及び施設管理を指定管理者に委託し、民間事業者による効率的かつ専門的な運営を行う。 指定管理者：（株）法美社 平成20年～平成24年度				
事業の目的・事業の概要等	<ul style="list-style-type: none"> ○修繕料（火葬炉・排気ファン修繕）4,095千円 ○役務費（火災保険料）55千円 ○委託料（指定管理者委託料）41,714千円 ○負担金（地元協力金）689千円 ○その他（印刷）製本費 55千円 				

すぐに行える改善提案	現状のサービス水準を低下させないよう、実地調査およびモニタリングによる評価を継続する。		
目標年度 平成24 年度			
取組状況	実地調査(3回/年)を実施して、施設の管理、及び運営状況をヒアリングした。		
中長期的に取り組むべき改善提案	待合室の利用促進策や、利用実態に即した閉館日の見直しによるコスト削減を検討する。また、同業種の代官山斎苑とあわせた管理・運営のあり方についての検討を行なう。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況	建設後、15年が経過したので、火葬炉の積み替え等の大規模修繕が必要で、計画的に施工することにより施設の延命化を図る。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境衛生費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	41,714千円	千円	千円	千円	千円			
		需用費	4,150千円	千円	千円	千円	千円			
		役務費	55千円	千円	千円	千円	千円			
		その他	689千円	千円	千円	千円	千円			
	事業費合計	46,608千円	千円	千円	千円	千円				
	人件費	正職員	0.50人	3,555千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.50人	3,554千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	50,162千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
			使用料・手数料	11,365千円	千円	千円	千円			
分担金・負担金			千円	千円	千円	千円				
地方債			千円	千円	千円	千円				
その他			189千円	千円	千円	千円				
一般財源		38,608千円	千円	千円	千円					
財源合計	50,162千円	千円	千円	千円	千円					

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由				
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由				
コスト投入の方向性	事業費の縮小を検討します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	25年度から5年間、指定管理者委託			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由				
すぐに行える改善提案				
目標年度	—	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	霊柩車について、赤坂聖苑は、所有していないため、葬儀社が手配し、運行している。広域連合が所管する代官山斎苑においては、霊柩車を2台所有しており、使用料を取って運行している。坂井市内で、霊柩車の費用に格差が生じていることから、今後も、引き続き指定管理者からの提案等も含め差額改善に向け検討していきたい。			
目標年度	平成29	年度		

【所属長評価】

成果	指標名	単位	年度	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
成果	指定管理委託料	千円	目標値	41714	達成率	41616	達成率	41000	達成率	41200	達成率
			実績値	41714	100	41616	100	41614	101.5	41160	99.9
成果	待合室利用件数	件	目標値	90	達成率	80	達成率	95	達成率	60	達成率
			実績値	83	92.22	103	128.75	71	74.74	76	126.67
活動	苦情等対応件数	件	目標値	0	達成率	0	達成率	0	達成率	0	達成率
			実績値	0	—	0	—	0	—	0	—
活動	モニタリング実施回数	回	目標値	3	達成率	3	達成率	3	達成率	3	達成率
			実績値	3	100	3	100	3	100	3	100
活動	アンケート回収件数	件	目標値	100	達成率	100	達成率	40	達成率	40	達成率
			実績値	113	113	93	93	30	75	32	80
活動	火葬件数	件	目標値	750	達成率	750	達成率	700	達成率	700	達成率
			実績値	763	101.73	803	107.07	728	104	695	99.29

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	坂井地区広域連合事業(斎苑)			事業コード	04010305106
所管部署	環境推進課	電話	50-3032	記入者名	吉川 十代治
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり		事業区分	自治事務(義務的なもの)
	基本計画	自然環境の保全と共生		事業種別	ソフト事業
実施主体	その他	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	火葬・待合業務
根拠法令	有	墓地、埋葬等に関する法律			
根拠例規	有	代官山斎苑の設置及び管理に関する条例・同施行規則			
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	坂井地区広域連合が代官山斎苑(三国町、あわら市管内市民)の火葬業務や墓地等の運営を行うことで、市民の公衆衛生の向上を図る。				
	○負担金11,758千円 坂井市負担分 29,397千円×4/10				
事業の目的・事業の概要等					

すぐに行ける改善提案	事務事業が移管され坂井地区広域連合において、構成市のあわら市とも協議しながら、指定管理者制度の導入を支援する。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況	本年度から、本業務が「坂井地区広域連合」に事務事業が移管された。平成25年度から指定管理者制度に移行される見込みである。赤坂聖苑については、同時期に指定管理社制度の更新を迎えるので、当該業務に関する資料・諸手続に関するデータを提供し、円滑な移管ができるようバックアップした。		
中長期的に取り組むべき改善提案	構成市として、市民が質の高いサービスが受けられるよう、負担金を拠出して施設の維持管理に務める。		
目標年度 平成26 年度			
取組状況	今後、火葬炉の積み替え等の大規模修繕が必要となるので、構成市のあわら市とも協議しながら計画的に施工することにより施設の延命化を図る。		

【事業の概要】

【前年度改善案に対する取組状況】

有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？(事業の成果が十分に上がっていますか？)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？(国、県、民間の活動と重複していませんか？)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等)を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B

【担当者評価】

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境衛生費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	11,758 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	11,758 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.10 人	711 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.10 人	711 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		12,469 千円		千円		千円		千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債			千円	千円	千円	千円	千円			
その他			千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		12,469 千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計		12,469 千円		千円		千円		千円		

【事業のコスト】

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	広域連合にて、指定管理者制度の導入を検討している。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由				
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由				
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
判断事由				
すぐに行ける改善提案	指定管理者制度の導入			
目標年度 平成25 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市内に2箇所の火葬場がある。施設の建設、管理運営の経緯から使用料金等に差があり、今後、検討していく必要がある。			
目標年度 平成29 年度				

【所属長評価】

成果	指標名	単位	年度	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
成果	負担金	千円	目標値	12000	達成率	12000	達成率	12000	達成率	12000	達成率
			実績値	11758	97.98	11933	99.44	10850	90.42	13400	111.67
活動	墓地区画貸付件数(三国町)	件	目標値	10	達成率	10	達成率	10	達成率	10	達成率
			実績値	7	70	4	40	6	60	8	80
活動	火葬件数(三国町)	件	目標値	250	達成率	250	達成率	250	達成率	250	達成率
			実績値	275	110	287	114.8	270	108	244	97.6
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の成果】

事務事業名	狂犬病予防事業			事業コード	04010310101		
所管部署	環境推進課		電話	50-3032		記入者名	小倉 渉
事業対象	市民及び犬の飼養主						
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり			事業区分	自治事務（義務的なもの）	
	基本計画	自然環境の保全と共生			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託		委託内容	犬の登録、予防注射接種業務	
根拠法令	有	狂犬病予防法					
根拠例規	有	坂井市狂犬病予防法の施行に関する規則					
関連計画・マニュアル	無						
【事業の概要】	狂犬病予防法に基づき、畜犬の登録と狂犬病の予防接種を飼い主に義務づけ、狂犬病の発生、まん延の防止を図る。						
	<p>接種率の向上と飼い主の利便性向上のため、4～5月にかけて巡回により集団 予防接種を実施する。また、集団予防接種以外の登録及び予防接種は、(社)福井県獣医師会に委託し事務の効率化を図っている。</p> <p>【発行見込数】 鑑札：359件 注射済証：2892件</p> <p>○需用費（鑑札、注射済票ほか） 118千円 ○役務費（集合注射案内郵便料） 192千円 ○委託料（犬の登録事務等委託料） 668千円</p>						
【事業の目的・事業の概要等】							

すぐに行える改善提案	予防接種の必要性について啓発するとともに、集団接種と動物病院での接種の併用で実施している現状を維持します。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況	集団接種、及び動物病院での接種率を高めることにより、狂犬病の発生をゼロに抑えていく。		
中長期的に取り組むべき改善提案	市内の犬の接種状況を把握するためにも登録の促進は必要不可欠であるため、予防接種と併せて登録の必要性について訴えかけます。		
目標年度 平成26 年度			
取組状況	広報誌などを用いて、飼養者に登録を勧めていく。		

【前年度改善案に対する取組状況】

【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A		
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない		A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている		A
【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B		
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる		B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき		B
【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A		
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき		A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる		A

【担当者評価】

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境衛生費					
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円				
			委託費	668	651	千円	千円				
			需用費	118	151	千円	千円				
			役務費	192	188	千円	千円				
			その他	千円	千円	千円	千円				
		事業費合計	978	990	千円	千円					
		人件費	正職員	0.99 人	7,038 千円	0.35 人	2,378 千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.99 人	7,038 千円	0.35 人	2,378 千円	人	千円	人	千円
	総事業費		8,016 千円	3,368 千円	千円	千円					
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
			使用料・手数料	978	990	千円	千円				
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
			地方債	千円	千円	千円	千円				
その他			千円	千円	千円	千円					
一般財源		7,038	2,378	千円	千円						
財源合計		8,016 千円	3,368 千円	千円	千円						

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由				
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由				
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由				
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由				
すぐに行える改善提案	狂犬病予防接種の啓発普及を継続的に行うとともに、動物病院における個別接種の利便性を広く周知し、予防接種率の向上に努める。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度 -- 年度				

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度		
成果 狂犬病予防注射接種率	%	目標値	70	達成率 70	達成率 70	達成率 70		
		実績値	66.6	95.14	68.5	97.86	67.2	96
成果 狂犬病予防接種頭数	件	目標値	3000	達成率 3000	達成率 3000	達成率 3000		
		実績値	2892	96.4	2903	96.77	2776	92.53
活動 畜犬登録件数	件	目標値	360	達成率 380	達成率 444	達成率 350		
		実績値	359	99.72	376	98.95	350	78.83
活動 広報活動	回	目標値	1	達成率 1	達成率 1	達成率 1		
		実績値	1	100	1	100	1	100
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率		
		実績値						

【事業の成果】

事務事業名	公害対策事業			事業コード	04010400101
所管部署	環境推進課	電話	50-3032	記入者名	持川 浩一郎
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	公害対策の推進		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	環境関係諸法令			
根拠例規	有	坂井市環境基本条例、坂井市環境保全条例			
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

大気や水質等環境の状況及び協定事業所等の協定項目を定期的、継続的に分析調査することにより、公害の未然防止を図り、市民が健康で安全かつ快適な生活を営むことができる自然環境、生活環境を確保します。

事業の目的・事業の概要等

- 旅費（環境保全対策事前調査旅費） 13千円
- 需用費 233千円
 - ・消耗品費（公害対策消耗品他） 77千円
 - ・光熱水費（大気汚染観測局電気料） 156千円
- 役務費（電話料、火災保険料他） 167千円
- 委託料 10,972千円
 - ・テレメーターシステム保守委託料 451千円
 - ・大気汚染測定機保守委託料 3,125千円
 - ・緊急分析検査委託料 189千円
 - ・煙道排ガス検査の実施 126千円
 - ・水質検査の実施 3,091千円
 - ・悪臭検査の実施 2,887千円
 - ・ダイオキシン類検査の実施 578千円
 - ・自動車騒音監視調査 525千円
- 使用料及び賃借料 1,729千円
 - ・大気汚染測定器借上料 1,729千円

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境保全費					
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
			報酬	千円		千円		千円		千円	
			委託費	10,972千円		11,005千円		千円		千円	
			需用費	233千円		236千円		千円		千円	
			役務費	167千円		151千円		千円		千円	
			その他	1,742千円		1,792千円		千円		千円	
		事業費合計	13,114千円		13,184千円		千円		千円		
		人件費	正職員	0.85人	6,043千円	0.80人	5,436千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.85人	6,043千円	0.80人	5,436千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	19,157千円		18,620千円		千円		千円		
		特定財源	国県支出金	千円		千円		千円		千円	
			使用料・手数料	千円		千円		千円		千円	
			分担金・負担金	千円		千円		千円		千円	
			地方債	千円		千円		千円		千円	
その他			1,944千円		1,946千円		千円		千円		
一般財源	17,213千円		16,674千円		千円		千円				
財源合計	19,157千円		18,620千円		千円		千円				

成果	指標名	単位	年度	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
成果	環境保全項目達成率	%	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率	100	達成率
			実績値	99.5	99.5	100	100	100	100		
成果	苦情調整件数	件	目標値	0	達成率	0	達成率	0	達成率	0	達成率
			実績値	93		117	---	117		163	
活動	立入調査企業数（排出規制）	社	目標値	47	達成率	44	達成率	45	達成率	44	達成率
			実績値	47	100	44	100	45		44	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

すぐにできる改善提案	苦情が多い騒音、悪臭等の感覚公害の早期解決に努めます。		
目標年度 平成25年度			
取組状況	施設への監視や調査、必要に応じて指導を行い、改善を図ります。		
中長期的に取り組むべき改善提案	公害の未然防止を図り、市民が健康で安全かつ快適な生活を営めるよう努めます。		
目標年度 平成28年度			
取組状況	継続的に工場等への立ち入りや分析調査をおこない、法律を遵守するよう呼びかけていきます。		

【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B	
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	大気や水質などの環境状況を常に把握し、工場等への立ち入りや分析調査を継続して行い、法律等が遵守されているか継続的に監視していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	従来どおり、監視体制の強化を図り、公害の未然防止を図ります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	現状の予算を最大限に活用します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由				
すぐにできる改善提案	苦情が多い騒音、悪臭等の感覚公害の早期解決に努めます。			
目標年度 平成25年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	これまでの苦情が発生している地域も含め、市民が健康で安全かつ快適な生活を営むことができるよう、今後も公害の未然防止を図るとともに、事業所等への監視指導に努めます。			
目標年度 平成30年度				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
成果	%	目標値	100	達成率	100	達成率
		実績値	99.5	99.5	100	100
成果	件	目標値	0	達成率	0	達成率
		実績値	93		117	---
活動	社	目標値	47	達成率	44	達成率
		実績値	47	100	44	100
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				

事務事業名	環境基本計画推進事務事業			事業コード	04010410101
所管部署	環境推進課	電話	50-3032	記入者名	橋向 秀也
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	自然環境の保全と共生		事業種別	ソフト事業
実施主体	その他	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	環境啓発活動
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有 坂井市環境基本計画				
事業の目的・事業の概要等	環境保全団体や環境リーダーの育成に努めるとともに、その活動の場の提供及び支援を行うことにより、市民の環境意識の啓発を図り、民間と行政が協働して市環境基本計画を推進します。				
	○委託料（推進事業企画運営委託料） 1,356千円 ・市民総エコプロのまちづくり事業 123千円 ・環境フォーラム等の開催 881千円 ・九頭竜川下流清掃活動 72千円 ・地球温暖化対策、里山保全調査研究 269千円 ・環境教育の実践 4千円 ・活動団体交流 7千円 ○負担金 1,230千円 ・環境自治体会議負担金 56千円 ・生物多様性保全活動支援事業市負担金 1,174千円 （陣ヶ岡丘陵地域生物多様性保全協議会活動支援）				

すぐに行ける改善提案	市と民間団体との協働のあり方や活動支援の方法について再検討のうえ、事業を継続していきます。
目標年度 平成24 年度	
取組状況	市内において取り組むべき事項、またその対策や連携の在り方について協議を行いました。
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市環境基本計画の見直し内容を踏まえ、今後施策に対する取組を検討していきたいと思います。
目標年度 平成25 年度	
取組状況	環境基本計画の見直しに向け、新たに取り組むべき事項を整理しました。

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	C
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境保全費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	1,356	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	1,230	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	2,586	千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.90 人	6,398 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.90 人	6,398 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	8,984	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		8,984	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	8,984	千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	環境基本計画の中間見直しを行い、前期における事業の実績や進捗状況を把握検討する。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由				
コスト投入の方向性	事業費の縮小を検討します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	事業の見直しや事業予算の組み換えにより、当事業の予算を縮小する。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由				
すぐに行ける改善提案	市と環境基本計画推進団体との協働体制を見直し、それぞれのメリットを十分生かした活動を行いながら、環境基本計画の見直しに基づき、引き続き環境保全の推進を図ります。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	平成21年度に策定した環境基本計画について、その中間点となる平成25年度においてこれまでの事業実績、進捗状況を点検し、26年度から平成30年度に向けた、坂井市の将来の環境像をめざした環境基本計画を見直ししていきます。			
目標年度 平成30 年度				

【所属長評価】

	指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
成果	環境基本計画の推進度	%	目標値	70	達成率 60	達成率 50	達成率
			実績値	50	71.43	40	66.67
活動	環境フォーラム参加者数	人	目標値	250	達成率 200	達成率	達成率
			実績値	200	80	400	200
			目標値		達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値		達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値		達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値		達成率	達成率	達成率
			実績値				

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	地球温暖化防止対策事業			事業コード	04010410106		
所管部署	環境推進課	電話	50-3032	記入者名	橋向 秀也		
事業対象	市民、事業者						
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	自然環境の保全と共生			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施		委託内容		
根拠法令	有	エネルギーの使用の合理化に関する法律					
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	有	省エネルギー管理中長期計画					
事業の概要	市自らが率先して地球温暖化防止に取組むとともに、市内事業所及び市民に広く地球温暖化に関する情報提供とその対策について周知、啓発していくことで、市内から排出される温室効果ガス排出量の大幅な削減を図ります。						
	事業の目的・事業の概要等	<ul style="list-style-type: none"> ○報償費（ライトダウンイベント出演者謝礼） 20千円 ○旅費（エネルギー管理講習会参加旅費） 9千円 ○需用費 648千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費（啓発用消耗品他） 493千円 ・印刷製本費（ポスター・チラシ印刷費） 155千円 ○役務費 132千円 <ul style="list-style-type: none"> ・通信運搬費（ライトダウンイベント備品郵送料） 10千円 ・手数料（講習会手数料） 113千円 ・自動車保険料（電気自動車保険料） 9千円 ○委託料（省エネ推進コンサルティング業務委託料） 1,416千円 ○使用料及び賃借料（会場使用料） 8千円 ○工事請負費（電気自動車充電設備設置工事費） 122千円 ○備品購入費（電気自動車購入費） 3,891千円 					

すぐに行える改善提案	電気自動車の導入など市が率先して二酸化炭素排出削減に努めたいと思います。		
目標年度 平成24 年度			
取組状況	電気自動車を1台導入するとともに、車体ラッピングデザインを市民から広く公募するなど、関心を高めてもらうための仕掛けづくりを行いました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	震災後、再生可能エネルギーの重要性がうたわれる中、長期的な視野に立っての協議が必要であると考えます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	市内における再生可能エネルギーの導入を検討するため、庁内会議を設置し、導入可能性について検討をはじめました。		

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境保全費					
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度			
		報酬	千円		千円		千円		千円		
		委託費	1,416千円		千円		千円		千円		
		需用費	648千円		113千円		千円		千円		
		役務費	132千円		千円		千円		千円		
		その他	4,050千円		1,083千円		千円		千円		
		事業費合計	6,246千円		1,196千円		千円		千円		
	人件費	正職員	0.45人	3,199千円	0.45人	3,058千円	人	千円	人	千円	
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円	
		人件費合計	0.45人	3,199千円	0.45人	3,058千円	人	千円	人	千円	
	事業費	総事業費	9,445千円		4,254千円		千円		千円		
		特定財源	国県支出金	千円		千円		千円		千円	
			使用料・手数料	千円		千円		千円		千円	
			分担金・負担金	千円		千円		千円		千円	
			地方債	千円		千円		千円		千円	
その他			4,665千円		千円		千円		千円		
一般財源		4,780千円		4,254千円		千円		千円			
財源合計	9,445千円		4,254千円		千円		千円				

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	再生可能エネルギー普及推進に向けた事業を国等の支援を受けて取り組みます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由				
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	国の支援を受け、事業費を拡大し、再生可能エネルギー普及推進事業に新たに取り組みます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	新規事業においては、委託により事務の効率化を図ります。			
すぐに行える改善提案	近年急激に注目されている再生可能エネルギーの普及について、市内でのポテンシャルや導入に向けての調査結果を踏まえ、庁内で協議しながら今後の方向性を検討していきます。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	短期的には再生可能エネルギーの普及導入を推し進めていきますが、長期的には変化する社会状況に対応したエネルギー施策を見極め、その時代のニーズに合ったエネルギー対策が重要であると考えられるので、柔軟でかつグローバルな視野に立って温暖化防止対策を図っていきます。			
目標年度 平成30 年度				

指標名	単位	年度	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
成果	市民一人当たりの年間CO2排出量	目標値	1.85	達成率	1.85	達成率	1.85	達成率		達成率
		実績値	2.06	111.35	2.06	111.35	2.06			
活動	ライトダウンキャンペーンイベント参加者数	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率		達成率
		実績値	130	130	111	111	92			
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】

事務事業名	海ごみ川ごみプラットフォーム・さかい事業			事業コード	04010410111
所管部署	環境推進課	電話	50-3032	記入者名	橋向 秀也
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	自然環境の保全と共生		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
【事業の概要】 事業の目的・事業の概要等	自然豊かな水辺環境を将来世代へ確実に引き継いでいくため、自治会やボランティア団体、事業者及び関係機関と情報を共有し連携した取組みを進める「プラットフォーム・さかい」を組織し、市内の水辺美化促進や生態系の保全を図る。				
	<ul style="list-style-type: none"> ○報償費（対策検討委員謝礼） 24千円 ○需用費 52千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費（統一行動時消耗品費） 47千円 ・食糧費（ごみ一掃統一行動時賄他） 5千円 ○委託料 162千円 <ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物収集運搬委託料 132千円 ・処理困難物収集処分委託料 30千円 				

すぐにできる改善提案	統一日以外で実施した地区がかなりあったため、回収作業に予算的及び労務的にもかなりの負担がありましたので来年度からは内容をさらに検討します。		
目標年度 平成24 年度			
取組状況	統一日での参加を強くお願いしたところ、ほとんどの参加区から了解をいただき、前年度の参加者と変わらない規模での清掃活動を行うことができました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	この統一活動が点から面へと移行するよう努力していきたいと思えます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	近隣市町等への協力体制を強く働きかけています。		

【前年度改善案に対する取組状況】 効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【担当者評価】 有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境保全費				
【事業のコスト】 コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円				
		委託費	162 千円	181 千円	千円	千円				
		需用費	52 千円	446 千円	千円	千円				
		役務費	千円	千円	千円	千円				
		その他	24 千円	358 千円	千円	千円				
	事業費合計	238 千円	985 千円	千円	千円					
	人件費	正職員	1.05 人	7,464 千円	0.70 人	4,757 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	1.05 人	7,464 千円	0.70 人	4,756 千円	人	千円	人	千円
総事業費	7,702 千円	5,741 千円	千円	千円						
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
		地方債	千円	千円	千円	千円				
		その他	千円	984 千円	千円	千円				
	一般財源	7,702 千円	4,757 千円	千円	千円					
財源合計	7,702 千円	5,741 千円	千円	千円						

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由				
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由				
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由				
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由				
すぐにできる改善提案				
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	ごみのポイ捨て等が、河川、海など水辺環境に悪影響を与えていることから、行政区単位を主体に統一日行動を実施しているが、市民の環境への関心が高まることにより、将来的には、市民やボランティア、各種団体等が自主的に清掃活動に取り組めるようにしていきたい。			
目標年度 平成30 年度				

指標名	単位	年度	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
			目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
【事業の成果】 成果	一掃統一行動時の参加者数	人	目標値	1000	達成率	500	達成率	200	達成率	達成率
			実績値	2000	200	2000	400	0		
活動	回収した漂着ごみの量	t	目標値	15.0	達成率	10.0	達成率	5.0	達成率	達成率
			実績値	12.0	80	17.0	170	0		
			目標値		達成率		達成率		達成率	達成率
			実績値							
			目標値		達成率		達成率		達成率	達成率
			実績値							
			目標値		達成率		達成率		達成率	達成率
			実績値							
			目標値		達成率		達成率		達成率	達成率
			実績値							

事務事業名	クリーンキャンペーン事業			事業コード	04010410116		
所管部署	環境推進課	電話	50-3032	記入者名	持川 浩一郎		
事業対象	市民						
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	自然環境の保全と共生			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	市民、行政が一体となって清掃活動を行う「クリーンアップ大作戦」を実施することにより、地域ぐるみでの地球環境保全や美化意識の醸成を図ります。						
	身の回りの環境について考える環境月間である6月の第1日曜日（平成24年6月3日）を「坂井市クリーンキャンペーン」として市民統一の清掃活動を実施します。						
事業の目的・事業の概要等	○委託料 448千円 ・一般廃棄物収集運委託料 348千円 ・処理困難物収集処分委託料 100千円						

すぐに行える改善提案	草、泥などの本事業の趣旨からはずれたものの排出が目立つので改善したいと思います。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況	本事業の趣旨が伝わるよう参加区長への周知を図ります。		
中長期的に取り組むべき改善提案	参加地区、参加人数をさらに増やし、市民の環境美化に対する意識を高めていきます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	区長や公民館、まちづくり協議会などへより積極的に呼びかけを行っていきます。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境保全費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	448	千円	1,202	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	172	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	448	千円	1,374	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.71	人	5,047	千円	0.35	人	2,378	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	0.00	人	千円	千円
		人件費合計	0.71	人	5,047	千円	0.35	人	2,378	千円
	総事業費	5,495	千円	3,752	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	806	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他			千円	千円	50	千円	千円	千円	千円	
一般財源		5,495	千円	2,896	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計	5,495	千円	3,752	千円	千円	千円	千円	千円		

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	町単位によって、活動は様々であるが、環境美化の意識高揚においては、高まってきていると思われる。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由				
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	地域によって差があるが、熱心に活動される場所では、処理困難物の回収が多く、現在のところは対応できている。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	市民課との連携により、対応が図られている。			
すぐに行える改善提案				
目標年度	—	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	市民の意識高揚を図るため、統一行動としての活動を行っている。日程は、行政区において臨機応変に対応しているところもある。活動による回収物の処理対応の課題はあるが、将来的には、行政区、各種団体等が自主的に活動できるようにしていきたい。			
目標年度	平成30	年度		

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度		
成果	清掃活動（クリーンキャンペーン）参加者数	目標値	30000	達成率	30000	達成率	10000	達成率
		実績値	9700	32.33	10523	35.08	8952	89.52
活動	クリーンキャンペーン時ゴミ回収量（もやせるゴミ+もやせないゴミ）	目標値	3000	達成率	3000	達成率	4000	達成率
		実績値	4569	152.3	4329	144.3	4379	109.47
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

事務事業名	一般廃棄物収集処理事業			事業コード	04020100101
所管部署	環境推進課	電話	50-3032	記入者名	高山 一郎
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	循環型社会の構築		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	一般廃棄物の収集運搬・処理事業
根拠法令	有	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
根拠例規	有	坂井市廃棄物の処理及び清掃に関する条例			
関連計画・マニュアル	有	坂井市一般廃棄物処理基本計画			

【事業の概要】

一般廃棄物の適正な分別、収集・運搬、処分等により公衆衛生の向上を図るとともに、リデュース（廃棄物の発生抑制）、リユース（再利用）、リサイクル（再生利用、再資源化）の3Rを推進し、循環型社会の構築を図る。

事業の目的・事業の概要等

- ◆一般廃棄物収集処理事業
 - 報償費（環境指導員活動謝礼他） 10,506千円
 - 旅費 34千円
 - 需用費
 - ・消耗品費（ごみ袋作成費外） 30,156千円
 - ・印刷製本費（ゴミカレンダー印刷費） 993千円
 - 役務費（ごみ袋取扱手数料外） 15,795千円
 - 委託料
 - ・一般廃棄物収集運搬委託 235,399千円
 - ・大型廃品特別収集委託料 8,694千円
 - ・その他、委託料 1,584千円
 - 使用料及び賃借料 30千円
 - 負担金
 - ・清掃センター負担 575,814千円
 - ・除塵機維持管理負担 2,741千円
 - 補助金
 - ・ごみステーション設置等事業費補助 1,718千円
 - ・資源（古紙類）回収奨励 13,141千円
 - ・魚腸骨収集運搬事業費補助金 739千円

予算	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費				
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			委託費	245,677	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			需用費	31,149	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			役務費	15,795	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			その他	604,723	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	事業費合計	897,344	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	100	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	153,803	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			その他	4,717	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源			755,430	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計	914,050	千円	千円	千円	千円	千円	千円			

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
成果	市民1人1日あたりごみ排出量	g	目標値 846 達成率	846 達成率	859 達成率	872 達成率
		実績値	885 104.61	881 104.14	856	858
成果	市民1人あたりのごみ処理経費	円	目標値 10000 達成率	11000 達成率	12000 達成率	13000 達成率
		実績値	9283 92.83	9565 86.95	10677	12647
活動	塵芥収集手数料	千円	目標値 120000 達成率	120000 達成率	120000 達成率	120000 達成率
		実績値	122032 101.69	121365 101.14	124174	120453
活動	集回収資源回収量	kg	目標値 3500 達成率	3500 達成率	3500 達成率	3500 達成率
		実績値	2888 82.51	3110 88.86	2710	2916
活動	リサイクル率	%	目標値 23 達成率	23 達成率	23.0 達成率	22.0 達成率
		実績値	14.9 64.78	16.2 70.43	17.5	18.3
活動	粗大ごみ回収事業回収量	t	目標値 340 達成率	330 達成率	340 達成率	360 達成率
		実績値	327 96.18	343 103.94	337	427

すぐに行ける改善提案	市民にとって利便性の高いごみ収集体制の再構築を検討するとともに、事業系一般廃棄物に関する行政関与の範囲および方策について検討する必要があります。		
目標年度	平成24	年度	
取組状況	ごみの分別の種類については、「市民満足度調査」で75.2%が負担に感じていないと回答していますが、大型小売店での資源回収拠点設置の際の補助を継続するなど、より利便性の高いごみの収集体制について検討しました。また、事業系一般廃棄物は事業者自らの責任で処分しなければならないとされていることから、事業者に対し許可業者へのシフトを推奨するとともに、委託業者に対してはその分の委託料の減額を検討しました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	一般廃棄物処理基本計画に基づき、市内で発生するごみの総排出量の抑制や3Rを推進し、市が一体となって循環型社会の構築を進めていく必要があります。		
目標年度	平成26	年度	
取組状況	新たな資源ごみの回収品目として、廃棄物の減量化や資源性の高い金属の回収を目的に今年度から小型家電の回収を実施し、新聞やテレビでも周知した結果、合計約15トンの回収実績となりました。また、広報誌等でごみの総排出量の抑制や3Rの推進について啓発したほか、要望に応じて小学校や公民館で出前講座を実施し、循環型社会の実現にむけた意識の向上を図りました。		

【前年度改善案に対する取組状況】	妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
		【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【担当者評価】	効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
		【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
		【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	26年度に一般廃棄物処理基本計画の見直しを予定しており、生活系ごみ、事業系ごみ等収集体制のあり方やごみの減量化、資源化の更なる取組について、検討していく必要がある。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由				
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成30	年度を目安
判断事由	生活系のごみの減量化は進んでいる状況である。事業系の特別集積地による収集手数料、委託料との費用対効果等を分析し、収集体制についての検討も必要と考えられる。			
人員投入の方向性	人員の増加を検討します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	特別集積地の収集手数料、ゴミ袋取り扱いにおける手数料等、事務処理が増大しており、簡素化・効率化を進めながら、円滑な事務のあり方を検討する。			
すぐに行ける改善提案				
目標年度	—	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	ごみの分別により資源化が促進され、特に市民からの可燃ごみの排出量は減少しつつある。地域においても高齢化が進み、分別収集やごみステーションの集約化においても課題が多い。食品等の消費や包装についても、事業者との連携によりごみの減量化を図っていきたい。			
目標年度	平成30	年度		

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
成果	市民1人1日あたりごみ排出量	g	目標値 846 達成率	846 達成率	859 達成率	872 達成率
		実績値	885 104.61	881 104.14	856	858
成果	市民1人あたりのごみ処理経費	円	目標値 10000 達成率	11000 達成率	12000 達成率	13000 達成率
		実績値	9283 92.83	9565 86.95	10677	12647
活動	塵芥収集手数料	千円	目標値 120000 達成率	120000 達成率	120000 達成率	120000 達成率
		実績値	122032 101.69	121365 101.14	124174	120453
活動	集回収資源回収量	kg	目標値 3500 達成率	3500 達成率	3500 達成率	3500 達成率
		実績値	2888 82.51	3110 88.86	2710	2916
活動	リサイクル率	%	目標値 23 達成率	23 達成率	23.0 達成率	22.0 達成率
		実績値	14.9 64.78	16.2 70.43	17.5	18.3
活動	粗大ごみ回収事業回収量	t	目標値 340 達成率	330 達成率	340 達成率	360 達成率
		実績値	327 96.18	343 103.94	337	427

事務事業名	坂井地区広域連合事業（環境衛生）			事業コード	04020200101
所管部署	環境推進課	電話	50-3032	記入者名	吉川 十代治
事業対象	構成市住民、利用者				
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	循環型社会の構築		事業種別	ソフト事業
実施主体	その他	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	し尿の収集運搬・処理業務
根拠法令	有	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
根拠例規	有	さかいクリーンセンターの設置及び管理に関する条例 ・同施行規則			
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

坂井地区広域連合で、坂井市、あわら市管内のし尿及び浄化槽汚泥の適正な収集・運搬及び処分等の処理を行うことで、環境衛生の向上を図る。また、さかいクリーンセンターの供用開始により事業運営を特別目的会社（SPC）に委託していることから、モニタリング機能を強化していく。

○負担金 95,047千円

衛生費負担金
・均等割（10%） 9,504千円
・人口割（90%） 85,543千円

【事業の目的・事業の概要等】

すぐに行える改善提案	施設の維持管理・運営は特別目的会社（SPC）が行なっているが、構成市として適正な運営の推進、維持管理のコスト削減に努める。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	公衆衛生の推進、民間業者に業務を委託している施設の運営等が適正に実施されるよう、構成市として確認する。		
中長期的に取り組むべき改善提案	事務の合理化、コスト減による負担金の適正化に務める。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	モニタリングの結果等を検討しながら、経費の執行状況を確認する。		

【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B	
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	衛生費	項	清掃費	目	し尿処理費					
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			その他	95,047 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	95,047 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		人件費	正職員	0.15 人	1,066 千円	人	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.15 人	1,066 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	96,113 千円	千円	千円	千円	千円	千円				
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
			地方債	千円	千円	千円	千円				
その他			3,480 千円	千円	千円	千円					
一般財源		92,633 千円	千円	千円	千円						
財源合計	96,113 千円	千円	千円	千円							

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由				
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由				
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由				
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由				
すぐに行える改善提案				
目標年度 ー 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	下水道の普及によりし尿、浄化槽汚泥の排出量が減少している。又、人口の減少も相まって排出量が減少されると予想され、し尿等収集運搬体制の見直しが必要となり、市民からのニーズ、事業者の現状や課題を調査、把握し、収集体制について検討が必要となってきます。			
目標年度 平成30 年度				

成果	指標名	単位	年度	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
成果	負担金	千円	目標値	100000	達成率	191834	達成率	860000	達成率	367000	達成率
			実績値	95695	95.69	141695	73.86	857599	366564		
活動	し尿処理量	k l	目標値	11800	達成率	11900	達成率	12000	達成率	12191	達成率
			実績値	10790	91.44	11488	96.54	11996	12941		
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の成果】